



ぼらんていあ通信

3月号
通巻 No.460

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2020年4月1日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: <http://sagamiva.info/>



新型コロナウイルス感染症とボランティア協会の対応について

会長・高橋 功

新型コロナウイルス感染者は日本に上陸して以来、3月23日現在日本の感染者(含むクルーズ船)は18522名(内死者50名)となっています。この感染症は2019年

11月下旬ごろ武漢で発生して人対人への感染があると言われていましたが、現在では皆さんも存じの通りヨーロッパに広がりWHOはパンデミックを宣言し、流行の中心はヨーロッパになったとしています。さらにアメリカのトランプ大統領は3月13日に「国家非常事態宣言」をしました。

政府は早期に収束させるには集団から次の集団を生み出すことを防止する事が重要とし、地方自治体、医療関係者、国民が一丸となって感染症対策を進めていく。そして手洗い、咳エチケット、マスク着用などを徹底するようお願いする等々、2月25日に基本方針を発表しました。

相模原市は政府の基本方針に従い2月28日に小、中学校の3月25日までの臨時休校、3月31日までの各施設の見学の貸出中止、さらに4月の「市民校まつり」の中止を打ち出しました。

市社会福祉協議会も2月27日(2020年3月15日まで)、4月13日(2020年3月31日まで)まであじさい会館

の貸室を閉室とし、そして「南交流フウンジの福祉祭り」を中止しました。また、市民活動サポートセンターも3月31日まで利用禁止、4月13日まで会議室の利用中止、事務機器も使用不可となっています。

ボラ協は2月15日にボリング大会を成功裏に終了させましたが、2月18日に正副会長が集まりHCC連行の活動は継続するが、結論として「運転者はマスクの着用、手洗いとアルコール消毒の実施として窓を開けるなど、利用者にはマスクの着用、乗車前の手洗い・アルコール消毒などをお願いする」としました。傾聴委員会も2月26日に開催し、活動は3月一杯原則休止する

が先方の要求によっては訪問するつもりです。また、2月26日の講座検討委員会では3月19日に予定した小野先生の講座を中止し、おたががプラザの会場をキャンセルしました。事務局も体調の悪い人もいるなかで毎日休まず頑張っています。3月の理事会はあじさい会館の貸室の閉室による書類審議とし、3月14日に正副会長で審議事項を決めました。ほら通部会は23日、24日にほら通の印刷・発送を予定していましたが、あじさい会館の閉室により発行を延ばしていました。しかし、4月以降も閉室の延長が決まりましたので、4月1日に

別の方法での印刷・発送を予定しています。3月中のぼら協の活動は以上の通りです。4月以降の活動については順次再開していきたいと思えます。但し、相模原市の対応策によつて変更もあつていふ思っています。

会員の皆様には、健康の維持とコロナに感染しない感染させないことを念頭におき行動されることを切にお願いいたします。

これからの情勢は判断しかねますが、先ず、亡くなった方への追悼、発病者の病気の平癒、努力される医療機関への感謝、身体安穩と感染拡大の鎮静化を祈りたいと思います。(2020.3.24)



お詫言ひ告知

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公共施設等の貸出し中止により、ぼらんていあ通信の月号の発行が遅れましたことをお詫言ひいたします。

また、色々な団体取材に伺い掲載させていただいている「オシヤマミスマスローナー」は、取材に行くことができないため、当分お休みとなります。次回の掲載をどうもお楽しみに。(広報委員会)



新春ボウリング大会楽しく盛り上がる!



2月15日(土)恒例の新春ボウリング大会が、JR相模原駅より数分にある相模原パークレーンズ3階をワンフロア貸し切りで開催された。実行委員やボランティアの皆さんは8時に集合し準備。9時から開会式が始まった。ボランティア協会高橋会長が「毎年、会場を提供してくれるパークレーンズさんや、お手伝いのボランティアさんのご協力のおかげで大会が実施できることに心より感謝いたします。選手の皆さんは賞品を目指し怪我のないようプレーし大いに楽しんでください」と挨拶された。

レーン両側のウォールを上げ、ガータなしにするので、スピードのないボールでも壁にあたりながらピンを倒せたりする。見ているだけで結構面白い。パークレーンズを弾く気持ちのいい音が会場を包み、あちこち



のレーンでストライクが出るたびに歓声や拍手が沸き起り、中にはハイタッチで盛り上がっている。1ゲームが終了すると得点の集計に入った。順位が決まるまでは自由にプレーを楽しんだ。

閉会式は予定通りの10時25分頃に始まり、羽田実行委員長から成績が



発表された。1位から3位の方にはパークレーンズのマネージャー江頭善文さんからカップと賞品が授与された。

- *1位 高橋 優さん(ワークショップSUN)
- *2位 石川 壽利さん(ふれあい作業所)
- *3位 片嶺 寛多さん
- *フービー賞 河内 崇さん(プリントショップ)
- *介護賞 宮城隆司さん(ふれあい作業所職員)

ワークショップ SUNとワークショップSUN横山からは20名参加。参加者の古座野さんは「足の怪我で調子はよくないけれど、いつもよりは成績は良かった。ボウリングは好きなので楽しみにしてきました」と感想を聞かされた。



閉会の挨拶では、杉本副会長が「楽しい時間を過ごすことができ嬉しく思います。毎年場所を提供してくださるパークレーンズさんにみんなで御礼をしましょう」と呼びかけると、参加者全員が大きな拍手で気持ちを伝えた。大会の参加者は、選手、付き添い、ボランティア、取材

パークレーンズの江頭マネージャ(左)と実行委員長の羽田理事(右)

など総勢71名。中には近藤たか子さん、温中さんのように、親子でボランティアとして協力してくださいだった方もいた。又、大戸行政書士事務所より1万円の寄付が寄せられた。

アルバイト時代から今年で36回目の大会となるという江頭さんは「普段でも障がい者の方が遊びに来てくれるようになりました」と感慨深そうに話されていた。今思えば15日に開催出来て本当に良かったですね。少く後なら、10の時世の中なっていたら...

(勝部・恒藤・山崎)



3月5日付けのタウンニュースにも掲載されました!



part2

新会員の皆さんを迎えて



はじめまして 小川みづえ

小山町に住む小川みづえと申します。去年の秋に以前から興味があった傾聴ボランティアの講習を受講しました。丁寧でわかりやすい講習をしていただき、これなら自分にもできるかもしれないと思い入会をお願いしました。

数年前から主人が移動サービスの活動でお世話になっており、傾聴の講習も主人と二人で受講しました。主人は移動中の利用者さんに気持ちよく利用してもらいたいという気持ちで傾聴を受講したそうので、今は講習で習ったことがとても役に立っていると申しております。

私は、実際の傾聴はまだ1回だけですが、利用者の方がとても人柄の良い方で、あつという間の1時間でした。次回を楽しみにしていたのですが、新型コロナウイルスの影響で訪問ができず、待ち遠しい思いで次回の訪問を待っています。

一緒に訪問して下さった先輩が親切に指導してくださり、話を進めるなかでさりげなく利用者さんの気持ちを明るくの方に誘導する技術なども学ばせていただきました。

今後利用者さんの心に寄り添いながら、少しでも明るい気持ちになっていただけるような傾聴を心がけていきたいと思えます。まだまだ勉強不足ですので、諸先輩のご指導をいただきながら心豊かな毎日を送りたいと思えます。

また、3月から事務局のほうでもお手伝いをさせて頂くつもりになりました。親切でわかりやすい指

導をいただきながらも、生来の覚えの悪さで、いつもでも先輩方を頼ってしまっています。皆さんの足を引っ張らないように努力していきますので、よろしくお願いします。



先輩会員です！

移動サービスの活動を通して

小山在住 小川進

現在のボランティア協会での主な活動は、移動サービスと車両管理・整備活動が主なものです。

協会の参加するお祭りの参加も毎年恒例の活動になりました。

移動サービスで心がけていることは、

- (1) 笑顔で接する
- (2) 相手の人格を尊重する
- (3) 秘密を守る
- (4) 人を非難しない

です。また、当然の事ではありますが、時間厳守も大切なことだと思います。



移動サービスを利用する人の中には自分を指名して

くれるほど友好的に接して下さる方もいらっしゃり、そういった人たちの心の交流に、モチベーションを上げてもらったりしていることも、この活動を長く続けていられる理由かもしれません。利用者さんは教えられる事が多く、大変有り難く思っています。

現在はボランティア協会以外にも「地域の会」や「いるかバンク」での活動にも取り組まれているので、毎日

4月の記念日は？

小倉義男

4月14日、タイタニック号の日です。1912年のこの日、豪華客船タイタニック号がニューファンドランド島沖で氷山に衝突。事故発生から2時間40分ほどで沈没し、1500人以上の犠牲者を出したそうです。映画「タイタニック」の名シーンを描いてみました。(o^^o)



小倉画

充実感ももっています。そこには視覚障がい者の誘導や、総口学習での講師として生徒たちの指導なども経験しました。障がいに対する理解と自分たちができる補助活動などを実際に体験してもらったことで、自分と他人の違いを受容することを覚えてもらう活動には手こたえを感じ、後日、生徒から届くお礼状や感想には、こころが教えられることも多々あります。

定年退職後に時間を持て余していたころには想像もしていない世界を垣間見ることができ、少しでも社会と関わりを持つ今の境遇を大変ありがたいものと感謝する毎日です。

よろしくお願します



理事会報告

3月14日(土) 定例理事会



3月理事会は新型コロナウイルス感染症の感染予防のため会議は中止し、書面審議となりました。

一. 報告事項

◆各委員会からの報告は常務理事から各理事へ直接連絡するにいたしました。

二. 審議事項

◆予算執行状況の確認と検討

◆継続して検討する。

◆規程改訂について

・事務局運営規程、旅費支給細則及び個人情報保護規則の一部改訂については、事務局常務小野理事の提案を承認し、それぞれ2020年4月1日施行。

◆新型コロナウイルス感染拡大への対応

・これまでの対応を3月末までの延長を決定。

三. その他

◆事務局員採用

・小川美津枝さんに3月1日付事務局員を委嘱。

・イベント等で着用するジャンパー及びパレード用横断幕を購入。

・ぼらんていあ通の発行延期を了承。

(次回理事会 4月11日(土) 10時より)

委員会だより

総代会委員会

委員長 西本 敬



総代会企画委員会は理事会からの諮問を受けて、協会の将来像にかかわる事項を検討する委員会です。メンバーは委員会固有の人が4名、理事が5名の計9名です。いわば、理事会だけでは検討時間がとれないような事項を別枠で検討しようというものです。2020年度は4回ほど開催しましたが、今年度のテーマは協会の役割・ネットワークについてでした。

設立時の協会は個人ボランティアといくつかのボランティア団体からなっており、運営委員もそれぞれの代表者といった感じで組織されていました。しかし、今は一部の事業で団体との協力関係はあるものの、地区も地区自体での活動が充実しており、市域全体として、ボランティア関連のこともいろいろ考える機会はあります。

例えば、傾聴活動はいくつかの団体が、市内全域あるいは地区で活動していますが、互いに活動上の悩みを話し合ったり、協力合ったりして研修したり、活動面で連携したり、活動の広報を協働で行ったりしていることはありません。

これらは、今後の検討の中で、市社協の支援もいたしながら、進めていきたいことになっております。ただし、これらは私たちが単独で何かを決めたり、行ったりできないことはありますので、市内の仲間の方々としっかりと話し合いが必要なのです。

相模原ボランティア協会 4月の予定

日	時間	内容
1(月)	10:00~	ぼら通3月号発行
11(土)	10:00~	定例理事会
18(土)	10:00~	臨時理事会
	13:00~	事務局委員会
20(月)	13:00~	ぼら通4月号印刷
21(火)	13:00~	ぼら通4月号発行
25(土)	10:00~	ハンディキャップ委員会
	14:00~	講座実行委員会

住まい探し相談会等事業連絡会議

参加して

小野 明雄

2月21日の会議に小川さんと参加しました。昨年は「あまり知らないままの参加で失礼」と書きましたが、今年は住まい探しサポーターとして役割を理解して参加することができました。

また相談会への参加に加え、今年度は住まい探しのサポーターとして、会員が業者への付添をしたこともあり、機会を見て是非、感想を聞かせてほしいと思います。

3月の相談会(中央区)は今年度で一番多い5名の予約がありました。新型コロナウイルス感染拡大のため開催中止となりの残念でした。



会員のひろば

様々なボランティア活動をなす
してこの会員の皆さまに、その活動
の紹介や経験したことがなすを語っ
ていただくコーナーです。

思えば遠くへ来たもんだ

西本 敬



海援隊の曲「思えば遠くへ来たもんだ」とい
うのがあります。1978年に発表されたもので
す。当時、国鉄のキャンペーンソングとして作ら
れたのですが、谷村新司の「いざ旅立ち」の
方が採用されたといわれています。書いてあり
ます。なるほど、「いざ旅立ち」に比べると泥
臭く、切なく、つまみ食いした曲かも知れません。
こんな所で書いたり、話したりしています。
で、私のボランティア活動との出会いはもう存
知かとは思いますが、「この機会にまた書いてみま
しょう。」

1969年3月26日の午後でした。私は、熊本
からブルートレイン(古い車体の寝台列車)に乗っ
てやってきました。最終的に降りた駅は橋本、当時
はまたろん単線で、駅舎も木造で北側のみに改札
口があった時代です。まだ肌寒く、冷たい北風(た
ったよ)が吹いて、ユニーと吸き、駅前商
店街の鈴木楽器店から流れていた曲は「夜明けの
スカット」。誰一人として知った人がいない、こ
の相模原砂漠に降り立った瞬間でした。

その年の秋、私は横浜・根岸で活動していた神奈
川県録音赤十字奉仕団に入団するため、神奈川

県立宇図書館が主催する録音奉仕者養成のた
めの講座を受けるようになった。学生時代に情
熱を傾けて取り組んでいた人形劇活動の続きの何
かを果たしたからです。根岸までの遠い道のりを
乗り継ぎながら、一歩一歩進むのが大変でした。
しかし、今でも思いますが、田舎で育った私は方言
のアクセントが強くて出づまり、なかなか難しいと
思っていたが、今は大丈夫です。今でもアクセント
辞典は手放せません。

その後、1978年には、先輩や仲間の皆さんと
ともに地元相模原で録音奉仕会を立ち上げること
ができ、続いて、1981年には相模原ボランティ
ア協会の設立へと進んでいきました。思えば、遠く
へやって来たものだとしみじみ思います。そのルー
ンを探ると、小中学生のこの青少年赤十字の活動
もその一つではないかと思いがたります。やはり、
若い頃の様々な活動が、私を遠くへ行かせ、新しい
何かに向かわせたのだと思うのです。

原稿を書いている今は、新型コロナウイルス感染
のことが重なることから、皆閉じこもるしかない状
況が続いていますが、人は孤立してはやっていけ
ない動物です。役割分担をしながら、次の世代を
次々と育てながら、互いに支えあっている行かなく
てはなりません。

私たちの主要な活動であるハンディキャップ活動
と傾聴活動はまさに、奇り添い、しながる活動です。
いい役割を果たすための機会に恵まれたこと
に感謝しながら、「ユニーの先んじまごのへんり
の心境です。」



Twitter

ほらんていあ通信版
ツイッターコーナー



ボランティアを始めるときに

なかだい ひろし
中道 博

定年後、社会に貢献したいという思いで、
2016年に「ボランティア養成講座」を交講
し、ハンディキャップでの送迎ボランティアを始
めました。

その後フードロスと食の格差提言を目標に
「フードリコミュニティ」を立ち上げました。
さらに地域のごともやからお年寄りが楽し
める居場所として「あそびぞみな」の「ミニ
ティ」の活動や、自治会役員・地区の民生委員・
児童委員等、市民後見人等様々なボランティア
を行っています。

人間は何か負荷がかかっていると、どうし
ても楽な道を選んでしまつたため、あえて自身に
様々な負荷をかけることで、日々充実した生活
を過しています。

最近が多忙のあまのハンディキャップの活動
が少なくなつてしまつたこと、迷惑をおかけして
いますが、ボランティア協会での活動が、私のボ
ランティア活動の原点になっています。





ボランティアさん募集！

～お菓子作り補助や農作業のお手伝い～

- 内容 施設内でお菓子作り補助や農作業のお手伝い
- 日時 月曜～木曜でご都合の良い日
10:00～15:00 (AM・PMのみ可)
※1日活動して下さる方には、昼食提供有り
- 場所 パステルファームワーキングセンター
(中央区田名5012-5)
- 持ち物 特にありません
- 駐車場 有



*連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所
電話 042 (759) 7982
相模原市社協 中央ボランティアセンター
電話 042 (786) 6181



《今月のイラスト》

…おちちゃん かこじゅん…

ご寄付をありがとうございました

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

＜2月の寄付者ご芳名＞

樋沢昌克 様

切手グループ 様

その他1名の皆様からご寄付をいただきました。

＜2月の寄付金＞

総額 142,000円でした。



会員登録のお願い(再掲)

来年度の会員登録が3月1日から始まりました。

引き続き会員登録の更新をお願いいたします。

あじさい連絡所または郵便振込で更新の手続きができます。ご住所等、登録内容に変更のある方は併せてご連絡下さい。

事務局



あら、ほんと？

アボカドの種が プラスチックに変身！



メキシコを拠点とするピオファセ社は、アボカドの種からバイオプラスチックを作り出すのに成功し、これを原料の一部にして食器類を製造している。同社によると、これらの製品は有機ごみのように分解されるという。埋め立て地のプラスチック削減につながると期待されているそうだ。

*ナショナルジオグラフィック
2020年2月号より

編集後記

つい最近80歳になったが、この年になって歴史的な事態に遭遇するとは！

その人が悪いわけでもないのに、新型コロナウイルスにかかった人を気の毒に思うならいざいらず、差別するなんてことでもないことだー早く治るやつ、頑張れと声援を送らなくはない。

何でもない日常生活が制約されたこの大変さを痛感。早い終息を祈るばかりです。(E)